

「わたしたちの草生津川」

注意事項

■草むらには、刺す虫や触るとかぶれる草花がかくれていることがあるので、観察する場合は、長袖、長ズボン、長靴、手袋を身につけましょう。藪になっているところでは、葉が目に入り怪我をする恐れがあるので近づかないようにしましょう

■水辺には思わぬ危険がいっぱいです。浅いようでも底の泥に足を取られ、身動きが取れなくなったりします。近づかないようにしましょう。川の水に触れた場合は、水道水でよく手洗いするなど消毒してください。

■交通ルールを守りましょう。歩行者は右側、自転車は左側を通りましょう。自転車は、歩行者を優先し、速度を落として安全に通り返りましょう。歩道と車道が交わる場所がありますので自動車に注意して渡りましょう。



ダイサギ (コウノトリ目サギ科)

全長:約100cm
オスメス同色で白色。
声:ゴアツと鳴く。
住処:国道7号線南バイパス臨海大橋近くの雑木林に営巣地がある。ダイサギのほか、アオサギやゴイサギが巣作りをしている。食餌のため、水田や川に現れる。



シマドジョウ (シマドジョウ亜科)

全長6~14cm。日本固有種。3対の口ヒゲを持つ。体側に黒い模様のないドジョウ(シマドジョウ亜科)は、5対の口ヒゲがある。



サトザクラ

1本だけ白いサクラが咲きます。ソメイヨシノより少し早めに満開になります。

桜(ソメイヨシノ) 見頃:4月下旬~5月上旬
コスモスロード 見頃:9月下旬~10月中旬

このマップは、川と人の生活に密着した草生津川の下流域に焦点をあてて作成しています。

平成22年6月から9月末にかけて住宅地の間を流れる草生津川の自然現況調査を実施しました。

その結果、様々な動植物が確認されました。マップに掲載しているのは、その一部です。

皆さんも、このマップを持って、草生津川流域に出掛けてみてはいかがでしょうか。



モクスガニ (イワガニ科)

甲幅60mm。成体は淡水域で生活するが、繁殖期には海に下り、交尾し、産卵する。幼生は海で育つ。



シュレーゲルアオガエル (アオガエル科)

体長40~60mm、背中は緑色。ニホンアマガエルとの見分け方は黒っぽい帯がないことである。「キリリリ」と鳴く。名前の由来は、江戸時代にシーボルトが標本をドイツへ持ち帰り、それを研究したドイツ人学者ヘルマン・シュレーゲルにちなむが、純粋な日本固有種である。



ニホンアマガエル (アマガエル科) 有毒

体長30~40mm、背中は緑色。鼻先から鼓膜の後ろまで黒っぽい帯が入っている。「クエグエグエツ」と鳴く。ヒキガエルの系統に近く体表から毒を分泌しているため、触った時はすぐ流水でよく洗うこと。決して目や傷口をこすってはいけません。こすってしまった場合は、すぐ病院へ行きましょう。



ヨモギにとまる ハラビトトンボ (トンボ科)

腹長20mm。出現期:5月~8月
小型種で頭部・胸部は黄色、特にオスの腹部の横幅が広いので、このように呼ばれている。日当たりの良い湿地に生息している。



イタドリ葉にとまる ツバメシジミ (シジミチョウ科)

前翅長14mm。出現期:4月~10月(年4~5回)
瑠璃色の羽根が美しい。名前の由来は、羽根の色ではなく、後翅にあるオレンジ色の模様と燕尾状の突起である。



ゲンショウコ (フクロソウ科)

高さ30~50cmになる多年草。花期7~10月、白い花を付ける。昔から下痢止めに使われ、すぐ効き目が出ることから漢字で「現の証薬」と書く。



アメリカザリガニ (アメリカザリガニ科)

体長60~90mm。北米原産、昭和5年に食用ガエルの餌として神奈川県に輸入された。雑食性でヤゴや水草を食べるため、トンボが減る一因になっている。



ヘクソカズラ (アカネ科)

ヤブに生える多年草のつる草。花期8~9月、中心が赤い花を付ける。全体に悪臭があるため、「屁くそ草」と呼ばれる。秋に黄色いツヤのある球形の実を付ける。



ヒレハリソウ 有毒 (ムラサキ科)

高さ1.5mになる多年草。花期6~7月、鐘形の薄紫の花を付ける。明治時代にヨーロッパから薬草として輸入されたが、毒性が発見されたため、食用としての販売が禁止されている。



ウグイ (ウグイ亜科)

全長30cm。淡水型と陸海型がある。ほかの魚が住めないようなpH3という酸性の水域にも生息している。



コガモ (カモ目カモ科)

全長:約37cm
オスは頭が栗色と緑色。体は灰色。メスは全体的に薄い褐色で、黒褐色の斑がある。嘴と足は黒い。声:オスはピリッピリッ、メスはクエクエと鳴く。住処:冬の渡り鳥として、川や池にいることが多い。



ハハコグサ (キク科)

高さ15~30cmの越年草。花期4~6月、春の七草の一つ「ゴギョウ」がこの植物である。

【このマップに関する問い合わせ先】
秋田市環境部環境都市推進課 環境学習・活動担当
〒011-0904 秋田市寺内蛭根三丁目24-3
TEL: 018-863-6632
FAX: 018-863-6683
e-mail: ro-evcp@city.akita.akita.jp



エコアちゃん

大道東橋付近から見た草生津川の桜並木

